

平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果から見た

# 掛川の子どもたち

## 保護者の皆様へ

このリーフレットは、本年度実施された全国学力・学習状況調査における掛川の子どもたちの概要をお知らせし、子ども一人一人の成長のために、各家庭での参考資料としてまとめたものです。子どもの生活習慣や学習習慣をよりよいものにする家庭実践項目の取り組みを進めていただければ幸いです。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえるとともに、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮しています。

## 調査の概要

- 調査実施日：平成 25 年 4 月 24 日（水）  
 調査対象：小学校 6 年児童（1,079 人）  
 中学校 3 年生徒（969 人）  
 調査内容：教科に関する調査



- ・主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）
  - ・主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・児童生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## 教科に関する調査結果

小学校における教科に関する調査では、全ての教科において、全国よりも平均正答率が低い結果となりました。特に、国語Aが3%以上低い状態となっています。また、県と比較した場合は、国語B、算数Bが県よりも低く、その差は1%未満となっています。

一方、中学校では、全ての教科において、全国・県よりも平均正答率が高い結果となりました。特に、全国との比較においては、数学Bが3%以上高い状態です。

【市平均正答率と全国・県との比較】 ※3%差を基準：◎≥3、3>○>0、0>△>-3、-3≥▲  
 (県) (全国) (県) (全国)

小学校…	国語A	○	▲	中学校…	国語A	○	○
	国語B	△	△		国語B	○	○
	算数A	○	△		数学A	○	○
	算数B	△	△		数学B	○	◎

## 各教科の主なあらわれ

### 【小学校国語】

- 「漢字を読む」「漢字を書く」事項の問題の平均正答率は、全国・県を上回っている。
- 「だから」や「理由は」などの手がかりとなる言葉のない文章から、理由を読みとることに課題があると考えられる。
- 総じて、国語の平均正答率が全国を下回った。この大きな原因としては、「選択式」「記述式」の問題形式を問わず、全体的に全国・県と比較すると、無答率が高かったことがあげられる。

### 【小学校算数】

- 「図形」や「量と測定」における基礎・基本は、概ね定着していると考えられる。
- 算数A・Bに共通して、最後の2問の無答率と誤答率が全国を大きく上回っている。これらから、限られた時間の中で、ある程度の情報量のある問題を読解して処理する力に課題があると考えられる。

### 【中学校国語】

- 「書くこと」「読むこと」の領域において、わかったことをもとに、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く問題は、特に、正答率が高かった。
- 「言語事項」について、文脈に即して漢字を正しく書く問題や比喩を用いた問題、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題において、正答率が低かった。これは、普段の漢字定着指導に加え、多様な語句について理解を深める取り組みが、さらに必要であると考えられる。

### 【中学校数学】

- 「数と式」の領域全体の平均正答率が特に高かった。身につけておかなければならない学習内容は概ね理解していると考えられる。
- 数学的な結果を事象に即して解釈したり、他の事象と比較したりしたうえで、問題解決の見通しを明確にして、筋道を立てて説明することに課題があると考えられる。

分析委員会では、分析結果ならびに、静岡県教育委員会からの「静岡県の子どもの学力向上のための提言」に基づき、下記の4点を提言しました。

さらに、各学校では、自校の結果を分析し、課題解決に向けた取り組みを具体にした「学力向上プラン」を作成して、学力向上のための授業改善等を図って参ります。

### 【学びの環境改善のための提言】

- (1) 今求められている「学力」について全教職員が共通認識をもつ。
- (2) 確かな学力を身につけるための授業改善を強力に推し進める。
- (3) 生徒指導や学級経営、道徳の授業の充実を図る。
- (4) 子どもが家庭学習に主体的に取り組んだり、子どもの学びを支えたりする学習環境を整える。



なお、詳しい分析結果につきましては、市のホームページ上で公開している「平成 25 年度 さらなる学校改善に向けて ～全国学力・学習状況調査分析より～」を御参照ください。

## 子どもたちの生活と学力の関係を分析してみると…

次のような子どもが、国語や算数・数学の平均正答率が高い傾向にあります。

### 【小中学校共通】

- 学校のきまりを守っている。
- 地域の行事に積極的に参加している。

### 【小学校】

- 毎日、同じ時刻に起きている。
- 毎日、同じ時刻に寝ている。
- 毎日、朝食を食べている。
- 家での手伝いをしている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。

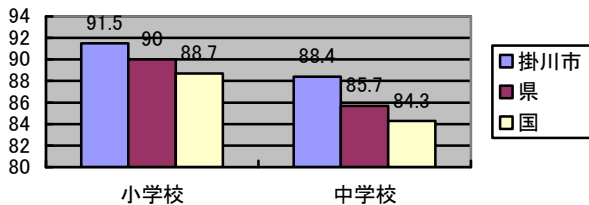
### 【中学校】

- 家で学校の宿題をしている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 人の気持ちがわかる人間になりたいと思っている。

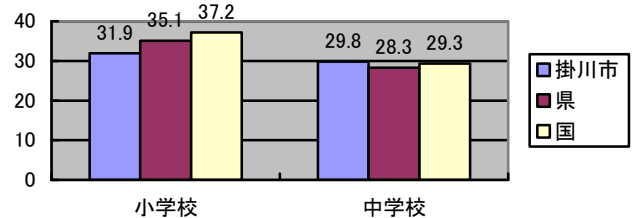
## 家庭実践項目① 生活のリズムを整えましょう。

決まった時刻に寝起きすること、勉強したり遊んだりすることなど、生活のリズムを整えることは、勉強、運動、栄養、睡眠などのバランスよい生活を送ることにつながります。毎日のリズムある生活は、学習時の集中力を高め、学力向上を図るうえで大切な基盤となります。

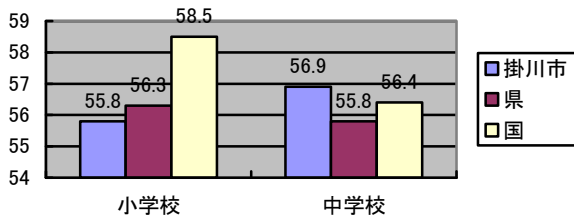
- 朝食を毎日食べていますか？  
(していると回答：%)



- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか？  
(していると回答：%)



- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか？  
(していると回答：%)



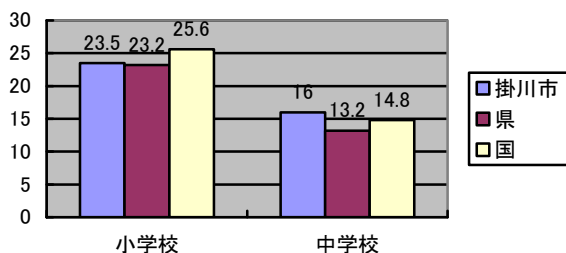
☆朝食をしっかりにとって登校しましょう。  
☆早寝早起きの習慣を身につけましょう。  
☆テレビを見たり、ゲームをしたりする時間やルールを決めましょう。

## 家庭実践項目② 学習習慣を身につけましょう。

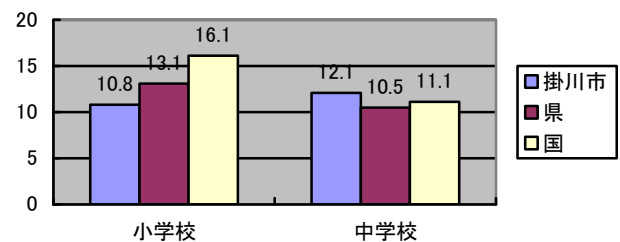
家庭学習として、まずは宿題に取り組むことが大切です。その日に学んだことを読み返したり、ノートにまとめたりするなど、学んだことを定着させるためには復習が欠かせません。

家庭での学習習慣を身につけることで、学校で学んだことについて一層理解を深め、次の日の授業に積極的に臨むことができるようになります。

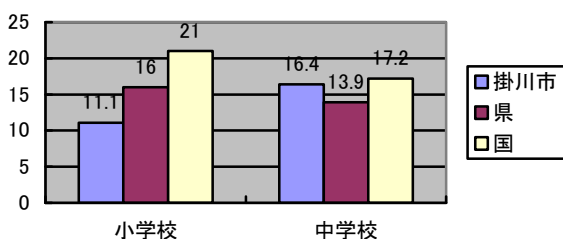
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか？  
(していると回答：%)



- 家で、学校の授業の予習をしていますか？  
(していると回答：%)



- 家で、学校の授業の復習をしていますか？  
(していると回答：%)

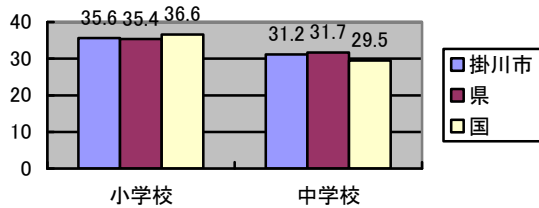


☆毎日家庭学習をしましょう。  
☆復習はその日のうちにやりましょう。  
☆予習をして、次の授業に臨む習慣を身につけましょう。

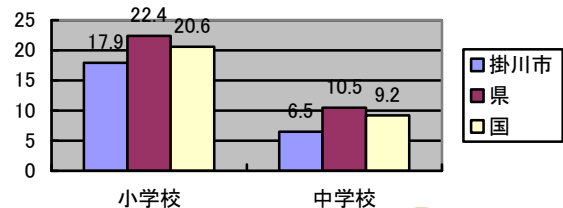
## 家庭実践項目③ 読書の時間を確保し、本に親しみましょう。

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。文章を読む力は、学力の基礎です。家庭でも、早い段階から読書習慣を身につけることが重要です。

- 家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか？（30分以上と回答：％）



- 本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか？（週に1～3回以上と回答：％）



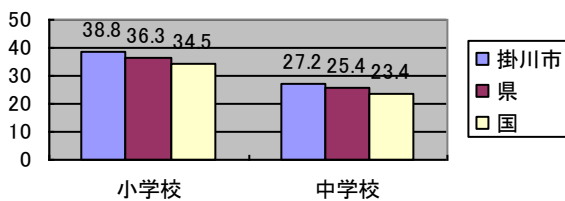
- ☆家庭でも読書の時間を設けましょう。
- ☆親子で図書館に行きましょう。
- ☆親子で同じ本を読み、内容や感想を語り合しましょう。
- ☆新聞やニュース等にも関心を持ちましょう。



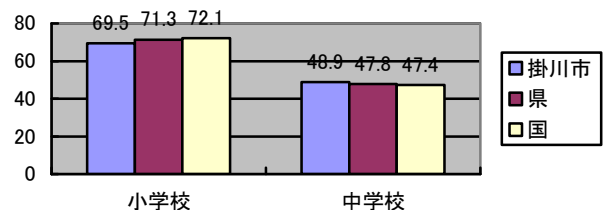
## 家庭実践項目④ 家族の対話を大切にしましょう。

夕食や家事の手伝いを通して、気軽に会話を楽しみ、その中でお互いを認め、励まし、ほめるといったあたたかなふれあいが大切です。親が自分自身の経験を語ったり、子どもの夢や希望に耳を傾けたりして、積極的に子どもと対話し、子どもの心を支えることが必要です。

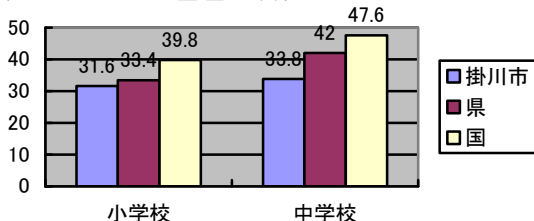
- 自分には、よいところがあると思いますか？（当てはまると回答：％）



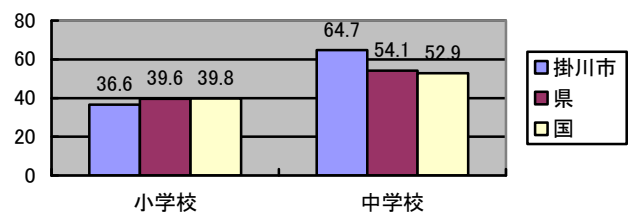
- 将来の夢や目標を持っていますか？（当てはまると回答：％）



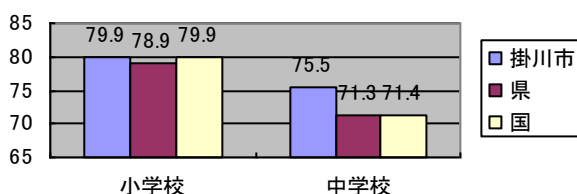
- 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか？（守っていると回答：％）



- 学校のきまりを守っていますか？（当てはまると回答：％）



- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？（当てはまると回答：％）



- ☆家族であいさつを交わしましょう。
- ☆本気でほめ、時には叱りましょう。
- ☆将来の夢や希望を持ちましょう。
- ☆家庭生活の中で規範意識を高めましょう。